

事務事業名		(仮称)堀田佐野城跡公園整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				担当係	公園緑地係	担当課長名	小野英世	
	施策	3	快適で質の高い住環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4	公園の整備				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11725	一般	8	4	5	(仮称)堀田佐野城跡公園整備事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		実施方法	
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	25年度～28年度		根拠法令 条例等	・都市公園法・佐野市都市公園条例 ・佐野市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例		事業分類		施設等整備事業	
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
1. 0.2haの街区公園整備計画を立て、植下町会や地元保存会と整備内容について説明会を行う。 2. 説明会の意見、要望などを参考に整備計画を立てる。 3. 公園整備工事の設計をして工事を発注する。 4. 工事完成後、公告して供用開始する。  総事業費 49,153千円			平成26年度は、水質、土質調査及び実施設計業務を実施した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			調査・設計を行った面積	㎡	1,978	1,978				
			整備工事を行った面積	㎡			1,978	1,978		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
近隣住民 公園予定地			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			近隣住民人口(植下町)	人	2,750	2,764	2,746	2,750		
			公園予定地	㎡	1,978	1,978	1,978	1,978		
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			近隣の住民が安心して公園に親しむことができ、外来者が地域の歴史に触れ、また休息することができる。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			事業進捗率	%	3.8	16.3	58.2	100.0		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市民一人当たりの都市公園面積(県営を含む)	㎡	18.27	18.36	18.92	19.53	19.87	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円			19,900	19,900				
	その他	千円								
	一般財源	千円	1,407	5,746	1,100	1,100				
	事業費計(A)	千円	1,407	5,746	21,000	21,000	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	1,407	委託料	5,746	工事請負費	21,000	工事請負費	21,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2			
	のべ業務時間	時間	500	500	500	500				
	人件費計(B)	千円	1,946	1,971	1,971	1,971	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,353	7,717	22,971	22,971	0			

事務事業名	(仮称)堀田佐野城跡公園整備事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	公園予定地に隣接した佐野城墟碑は、昭和48年3月に市の重要文化財に指定され、昭和60年4月には、保存会から公園化の陳情が出された。その後、平成19年度に市が国有地を払下げ、公園用地として維持管理していたが、市の政策である『観光立市』により、地元町会から公園化による跡地の保存整備の期待が高まってきた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	本市が進めている『観光立市の政策』により、公園予定地事業化の早期実現に、保存会や地元町会が期待を寄せるようになってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会においては、数回にわたり(仮称)堀田佐野城跡の公園整備についての一般質問が出された。また、平成22年5月に植下町会から地域住民の憩いの場としての公園整備の要望書が改めて出された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	地域の近辺には公園が少ないため、公園の整備により近隣住民や来街者が集い、親しむことができ地域にとって潤いのある快適な居住空間が確保され、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	周辺は、宅地化がされてきたが、当地区において区画整理事業が行われなかった経緯があり、公園が整備されていない現状であるが、地域間の格差を解消するため、用地が確保された公園を配置し整備することは、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	公園予定地を整備することにより、近隣住民が利用できる潤いの場所となり対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	計画的な事業費の投入により、成果を向上させることができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	出来るだけ現況の地盤や景観を活用した造成整備をし、コスト削減を図った整備をする計画であるため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	公園利用者は不特定多数であり、一部の受益者から限定し負担を求めることはできない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		整備工事完成後、供用開始して事業終了となる。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 計画的な事業費を確保する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	財源の確保
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	